

資料編

財務諸表	22	管理債権などの状況	38
時価情報	27	証券業務	39
有価証券に関する指標	28	国際業務	39
資金調達・資金運用	29	その他業務	39
当金庫の自己資本の充実の状況等について	31		

信用金庫の開示項目

このディスクロージャー資料は信用金庫法施行規則に定められたディスクロージャーの開示基準に基づいて作成しておりますが、その基準における各項目は以下のページに掲載しております。

1. 金庫の概要及び組織に関する事項		4. 金庫の事業の運営に関する事項	
・ 事業の組織	40	・ 法令等遵守態勢	2
・ 理事・監事の氏名及び役職名	40	・ リスク管理体制	3
・ 会計監査人の名称	40	・ 金融 ADR への取り組み	8
・ 事務所の名称及び所在地	44	・ 経営者保証に関するガイドラインへの取り組み状況	9
2. 金庫の主要な事業の内容	13	・ 中小企業の経営改善及び 地域の活性化のための取り組み状況	11
3. 金庫の主要な事業に関する事項		5. 金庫の直近の 2 事業年度における財産の状況	
(1) 直近の事業年度における事業の概況	4、5	(1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書	22～25
(2) 直近の 5 事業年度における主要な事業の状況		(2) 貸出金のうち次に掲げるものの額及びその合計額	
・ 経常収益、経常利益、当期純利益	26	・ 破綻先債権に該当する貸出金	38
・ 出資総額及び出資総口数	26	・ 延滞債権に該当する貸出金	38
・ 純資産額、総資産額	26	・ 3 ヶ月以上延滞債権に該当する貸出金	38
・ 預金積金残高、貸出金残高	26	・ 貸出条件緩和債権に該当する貸出金	38
・ 有価証券残高	26	(3) 金融機能再生措置法規則に基づく開示債権	38
・ 単体自己資本比率	26	(4) 自己資本の充実の状況等について	31～37
・ 出資に対する配当金	26	・ 自己資本の構成に関する事項	31
・ 職員数	26	・ 自己資本の充実度に関する事項	32
(3) 直近の 2 事業年度における事業の状況		・ 信用リスクに関する事項	
① 主要な業務の状況を示す指標		(リスク・ウエイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー 及び証券化エクスポージャーを除く)	33、34
・ 業務粗利益および業務粗利益率	26	・ 信用リスク削減手法に関する事項	35
・ 業務純益、実質業務純益、コア業務純益および コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）	26	・ 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに 関するリスク管理の方針及び手続きの概要	35
・ 資金運用収支、役員取引等収支、その他業務収支	26	・ 証券化エクスポージャーに関する事項	35
・ 総資産経常利益率、総資産当期純利益率	26	・ オペレーショナル・リスクに関する事項	35
・ 資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、 利息、利回りおよび資金利鞘	26、27	・ 出資等エクスポージャーに関する事項	36
・ 受取利息および支払利息の増減	27	・ リスク・ウエイトのみなし計算が適用される エクスポージャー	36
② 預金に関する指標		・ 金利リスクに関する事項	37
・ 流動性預金、定期性預金、その他の預金の平均残高	29	・ 用語解説	37
・ 固定金利定期預金、変動金利定期預金及びその他の 区分ごとの定期預金の残高	29	(5) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、 時価及び評価損益	
③ 貸出金等に関する指標		・ 有価証券	27
・ 預貸率の期末値及び期中平均値	26	・ 金銭の信託	28
・ 手形貸付、証書貸付、当座貸越及び 割引手形の平均残高	29	・ 規則第 102 条第 1 項第 5 号に掲げる取引 (デリバティブ取引等)	28
・ 固定金利及び変動金利の区分ごとの 貸出金の残高	29	(6) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	39
・ 担保の種類別の貸出金残高及び債務保証見返額	29	(7) 貸出金償却の額	39
・ 使途別の貸出金残高	30	(8) 金庫が貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書に ついて会計監査人の監査を受けている場合はその旨	23
・ 業種別の貸出金残高及び 貸出金の総額に占める割合	30	6. 報酬等に関する事項であって、金庫の業務の運営又は財産の 状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定め るもの	
④ 有価証券に関する指標		・ 報酬体系について	25
・ 預証率の期末値及び期中平均値	26		
・ 有価証券の種類別の平均残高	28		
・ 有価証券の種類別の残存期間別の残高	28		